

製品名: NKp30 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14723**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	30kDa

抗原情報

遺伝子名	NCR3
別名	NCR3; 1C7; LY117; Natural cytotoxicity triggering receptor 3; Activating natural killer receptor p30; Natural killer cell p30-related protein; NK-p30; NKp30; CD antigen CD337
遺伝子 ID	259197.0
SwissProt ID	O14931
免疫原	抗血清はヒト NCR3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 104-153

背景

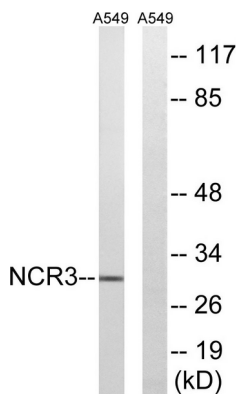
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、NK 細胞による腫瘍細胞の溶解を助ける可能性のある天然細胞傷害性受容体 (NCR)

です。コードされるタンパク質は、T細胞受容体であるCD3ゼータ (CD247) と相互作用します。この遺伝子の5'非翻訳領域における一塩基多型は、軽度のマラリア感受性と関連付けられています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2010年5月]、機能: 活性化ナチュラルキラー (NK) 細胞が腫瘍細胞溶解を媒介する効率の向上に寄与する可能性のある細胞傷害活性化受容体。、多型: NCR3 の遺伝的変異は、軽度のマラリア感受性と関連しています [MIM:609148]。、類似性: 天然細胞傷害性受容体 (NCR) ファミリーに属します。、類似性: 1つのIg様 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。、サブユニット: CD3Z と相互作用します。、組織特異性: すべての休止期および活性化NK細胞によって選択的に発現し、脾臓では弱く発現します。、

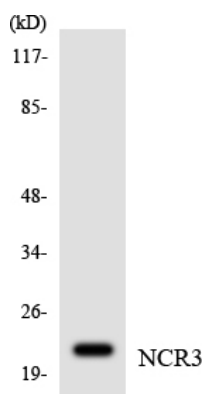
研究分野

ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害性;

画像データ



NCR3抗体を用いたA549細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



NCR3抗体を使用したK562細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。